

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者:校長 岡田 達也

～ えがお かがやき がんばる 学校 うれんだん「チーム北川」～

## 自己ベストを目指して! 市内陸上運動記録会

先週の21日(水)の午後から笠岡陸上競技場において第42回笠岡市内学童陸上運動記録会が開催されました。本校からは、5・6年生16名が自己ベストを目指して参加しました。

その日の朝会では、16名の健闘を願って壮行式を行い、全校で盛り上げました。その甲斐あって、入賞した子も。その反面、自己ベストが更新できずにくやしい思いをした子も。水泳や陸上などスポーツの世界では、人と競わなければなりません。そのため、結果によって子どもたちが一喜一憂することも確かです。しかし、この日までがんばった努力は消えることはありません。同時に、記録会には参加しませんでした。9月下旬から陸上特別練習に取り組んだ子どもたちの努力も素晴らしいものでした。

学校教育の中で大切にしていることは、勝敗ではありません。最も大切なことは、「自己の成長のために真剣に取り組むこと」、つまり「過程」です。そして、「がんばっている子を心から支え応援すること」です。スポーツでも、学習でも同じです。練習の中で、記録が伸びなくてやめたくなるときがあります。そんな弱い気持ちになった自分を支えて、応援してくれる友達や周りの大人がいるから、最後までがんばれるのです。「もうちょっと!」だけがんばれるのです。

学校には、いろいろな子どもたちがいます。しかも、子どもたちには得手不得手もあります。何かにチャレンジするとき、必ず心が折れそうになるときがあるものです。そんなときこそ、「もうちょっとだけ!」と心に念じて、ちょっぴり勇気を出してほしいと思います。その後押しをするのが、私たち教職員や保護者、地域の方々、周りの大人の役目ではないでしょうか。



## 地域のために! 「北川小学校踊り隊」本番間近



11月1日(日)の笠岡市芸能祭が近づいた26日(月)、朝会を利用して31名の「北川小学校踊り隊」の子どもたちの壮行式を行いました。私が応援団長として音頭を取り、全校でエールを送りました。記録会に参加した子どもたち同様に、本番を目指して夏休みから練習してきました。練習の成果を発揮してくれることを願っています。

あと、28日(水)の練習を残すのみとなりました。真新しいかっこいいはっぴに負けないうように、笠岡市民会館のステージでかっこよく堂々と踊ってほしいと思います。